

亀岡市支えあいまちづくり協働支援金
の運用について

互いを認め合う ふれあいのまちづくり

□協働とは・・・

市民と行政が、開かれたプロセスのもと、対等な立場で協力し、ともに学び、成長しながら、地域の発展・課題解決などに取り組むことです。

□協働のまちづくりとは・・・

これまで行政主導ですすめられていたまちづくりに対し、個人や団体などの市民と行政が、強い信頼関係のもと、ともに地域の課題解決や発展を自指し、まちづくりに取り組むことです。

□市民活動とは・・・

市民の自立的・主体的な参加のもと、不特定多数の市民の利益を実現していくために取り組む、営利を目的としない活動のことです。

市民と行政がそれぞれの特性を活かしつつ、
豊かで魅力があり、誰もが愛着を持てるまちの実現

【亀岡市支えあいまちづくり協働支援金制度の概要】

メニュー	スタート事業	ステップアップ事業	市民連携事業
特徴	立上げ間もない団体への支援	活動の充実支援 新規事業の立ち上げ支援	2つ以上の団体が各々の特性を活かすことで、単体では実現できなかった効果が期待できる事業
テーマ	申請団体が設定		
助成限度額	15万円 (10/10)	20万円 (10/10)	50万円 (10/10)
助成期間	1年のみ	原則3年まで可	
他の補助金	併用不可	亀岡市以外なら併用可 (例) 京都府地域力再生PJ支援交付金	
概算払い	全額可		半額上限
間接経費	算入不可		算入可能

亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の交付実績

(申請・交付件数：件、申請・交付額：千円)

年度	スポーツ事業		スポーツクラブ事業		市民連携事業		行政連携事業		計	
	申請 件数	交付 件数 (額)	申請 件数	交付 件数(額)	申請 件数	交付 件数(額)	申請 件数	交付 件数(額)	申請	交付
22	0	0	11	6 (491)					11	6 (491)
23	5	3 (300)	13	7 (655)					18	10 (955)
24	1	0	7	6 (600)	3	1 (1,000)			11	7 (1,600)
25	3	2 (200)	13	7 (1,000)	3	1 (700)	1	1 (473)	20	11 (2,373)
26	1	1 (100)	11	10 (1,720)	1	1 (1,000)	2	1 (800)	15	13 (3,620)
27	4	2 (200)	14	9 (1,509)	4	2 (400)	1	1 (452)	23	14 (2,561)
28	0	0	7	7 (1,000)	3	3 (1,350)			10	10 (2,350)
29	3	3 (292)	8	7 (1,147)	2	1 (350)			13	11 (1,789)
計	14	8 (800)	69	45 (5,975)	11	5 (3,100)	4	3 (1,725)	98	61 (11,600)

※行政連携事業は、平成27年度をもって市民連携事業に統合。

※H29は決定金額、その他は確定金額。

【市民協働の推進】

「第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～」において“市民の参画と協働の推進”を基本理念の一つに掲げ、推進にあたっては、平成27年3月策定の「第2次亀岡市まちづくり協働推進実施計画」に基づき、各種施策を実施しています。

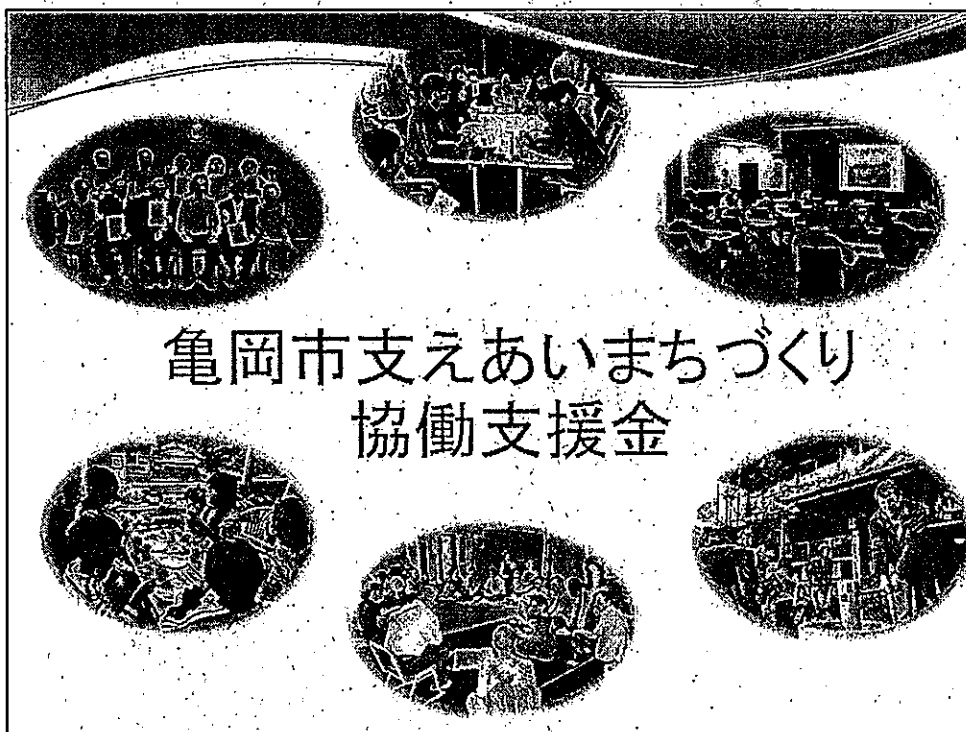
【支援金制度の趣旨】

地域課題の解決に向けては、市民の主体的な参画と、“公共”を担う多様な主体の協働が欠かすことのできない要素となります。

本制度は、地域の課題解決を目指した取組みを行う市民活動団体や自治会などを対象として、資金面から活発な市民活動をサポートします。

市民協働の輪を広げ、豊かで魅力があり、誰もが愛着心の持てるまちづくりに貢献することを目指します。

(2017.4 市民力推進課)



目的

魅力あるまちづくりに向けて市民団体が自主的に取り組む地域の課題解決につながる事業を資金面で支援します。

多様な
地域課題への
対応

自立した
市民活動の
促進

審査会の様子

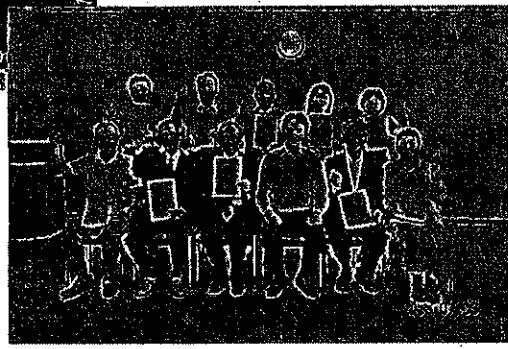


行政だけでなく市民審査員
(まちづくり推進委員から選出)も
審査に参加します。

審査だけでなく、事業に対する
アドバイスや他団体とのマッチング
の視点も大切にしています。



交付式の様子



支援金事業の紹介①

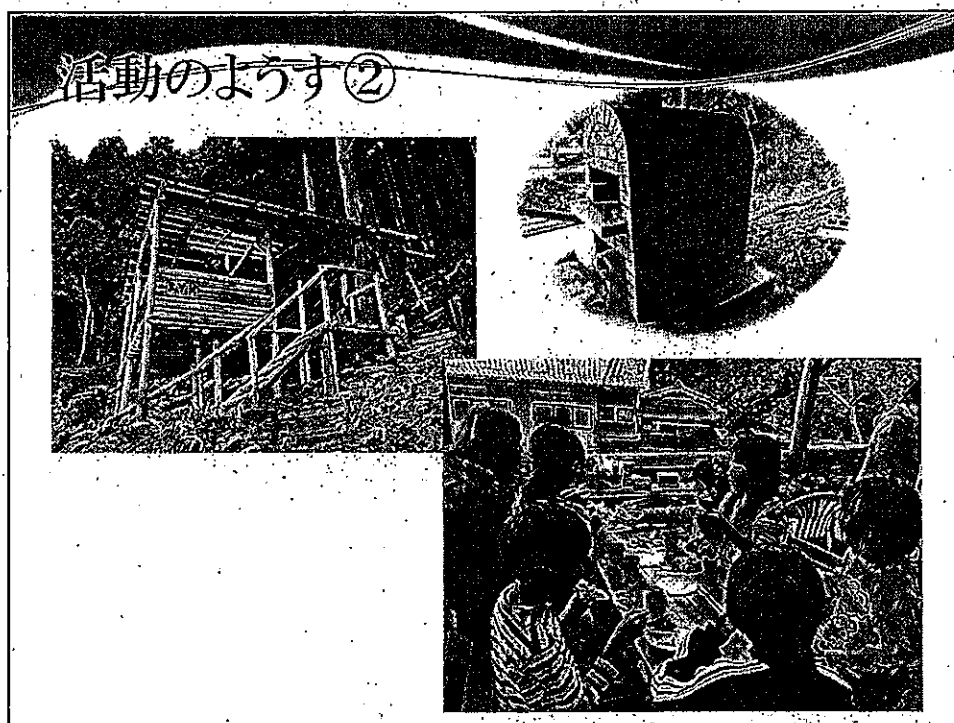
- 団体名：重利の山を守る会
- ステップアップ事業（H28年度）
- 課題設定
 - ・地域の山が荒れており、木が民家に倒れかけている。
 - ・地域のつながりが希薄になっている。
- 事業内容
 - ・山の整備と交流の場づくり交流の場を活用した災害に対する地域の絆づくり
- 事業成果
 - ・地域住民の力を活かした交流の場づくり
 - ・子どもを巻き込んだ交流の場の活用

活動のようす①



子ども・大人に関係なく
地域住民を巻き込んだ
交流の場づくり







支援金事業の紹介②

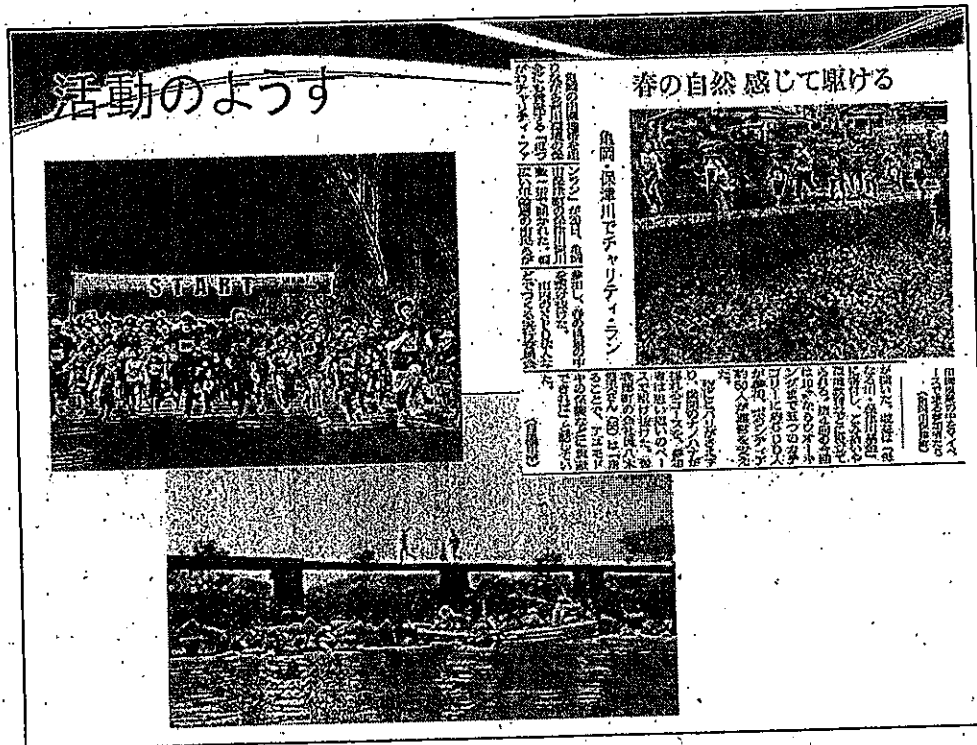
- 団体名：Office Com Junto (オフィス・コンジュント)
- ステップアップ事業 (H26,H27年度)
- 課題設定
 - ・日本語を話せるが読み書きが苦手な成績に結びつかない
 - ・外国籍の親をもつ子どもの増加と行き届かない教育
 - 努力不足などと誤解を受けていじめのきっかけにも…
- 事業内容
 - ・九九など日本独特の知識を個別で教える。
 - ・家庭でも学習指導ができるように保護者に対しても支援
- 事業成果
 - ・学習成績の向上 ・保護者の育成
 - ・外国籍の親を持つ子どもへの理解向上、環境の整備

活動のようす

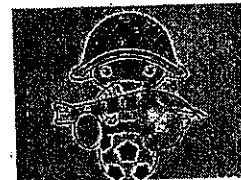
支援金事業の紹介③

- 団体名：NPO法人プロジェクト保津川
- 市民連携事業（H24,H25,H26年度）
連携先：NPO法人子育てネットワーク
- 課題設定
 - ・市民が亀岡に愛着を持つ機会がまだまだ少ない
 - ・子どもから高齢者まで楽しめるスポーツイベントがない
- 事業内容
 - ・子どもから高齢者まで亀岡の自然環境の素晴らしさを体感できるスポーツイベントを開催し、亀岡への愛着を高める機会を創出する
- 事業成果
 - ・託児所の開設により、日頃イベントに参加しにくい子育て世代の人も参加できた
 - ・子どもから高齢者までが一緒に亀岡の自然を体感する機会をつくることできた



支援金事業の紹介④

- 団体名
アユモドキの保全と京都サンガの応援事業実行委員会
- 市民連携事業 (H27,H28年度)
連携先：行政
- 課題設定
・サッカースタジアム建設と、アユモドキの保全に対する市民の機運が低い。
- 事業内容
・ロゴマークの作成、周知による機運向上
- 事業成果
・一般公募によるロゴマークの作成
・寄付付きグッズに向けたロゴマークの活用検討



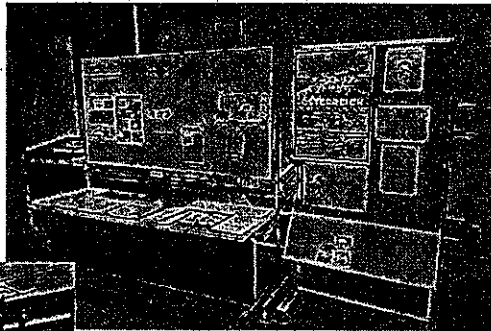
活動の様子



市の行事などと連携した
広報活動

報告会の様子

1年間の成果を市民や他団体にPR!



意見交流を通じて事業の成果や課題を
みんなで振り返り、来年度の事業に
活かします。